

～ウィズ便り～

令和4年2月

早いもので、今年に入りはや一ヶ月が経ちました。立春も迎え、暦の上では春の始まりですが、まだまだ寒い日も多く、暖かい春がまちどおしい今日この頃。皆さまいかがお過ごしでしょうか。



先月より再度猛威をふるっている新型コロナの影響もあり、未だ落ち着かない日々が続いております。手洗い、うがい、消毒の徹底はもちろん、常日頃から運動や規則的な生活、食習慣の見直し等で、免疫力を上げる生活を心がけていきたいですね。

介護の現場から・・・ シリーズ～介護すること、されること～

⑰ 頸髄損傷からの回復

Aさん77歳 鳥取県で育ち、結婚、就職。定年後はカラオケや農業を趣味として、夫婦仲良く暮らされてきました。1年前、自宅の階段から滑り落ち、頸髄損傷で手術を受けられましたが、上下肢麻痺の診断を受け、突然のことに喪失感に苛まれます。生活動作全てに介護を必要とする状態になられ、介護認定を申請、要介護4の認定がおりました。退院にあたり、大阪在住の娘様は、両親共に引き取り、自宅での介護を考えましたが、Aさんは「歩けるようになるまで、リハビリのできる施設に入りたい。」と施設入所を望まれました。ご家族に負担をかけたくないというお気持ちだったので。娘様が、大阪の自宅から近い、自費のリハビリ訓練が利用できる有料老人ホームを選ばれ、入所されます。

ホームでの生活が始まり、まずは「歩行器で歩く」を目標とし、リハビリ訓練に取り組まれます。ところが、コロナ禍で面会制限がかかり、ご家族に頻繁に会えなくなってしまいました。入所2ヶ月が過ぎた頃、施設からAさんが、「頑張ってリハビリをしているのに思うような結果が出ないと意気消沈している、物忘れも見られるようになってる。」と連絡がありました。ご家族は「このままでは寝たきりになるのではないかと不安が募り、かかりつけ医に相談。医師からは「ケアマネジャーやリハビリの専門職がチームとなり寄り添う、在宅介護を実現しましょう。自宅でも残っている機能を生かし、日常生活でできることを増やすためにリハビリができるよう、お手伝いしますよ。」と力強い提案がありました。それを聞いたAさんは、「家に帰ってリハビリができるなら頑張るよ。」と涙を浮かべて喜ばれたそうです。

自宅に戻り「歩けるようになる」という目標に向け、訪問リハビリ、デイケア、デイサービス、福祉用具、訪問マッサージなど、ご本人の意向を踏まえてリハビリ強化の計画書を作成し、サービスがスタートしました。当初は、日常生活全般に介護が必要であり、ご家族の介護負担が大きいことが課題でしたが、2ヶ月が経過し、意欲的にリハビリ訓練に取り組まれた結果、ご自身で椅子からの立ち上がり、手引き歩行ができるまで回復されたのです。Aさんに笑顔が戻り、次は1人で歩けることを目指されています。家族様から「最初は介護できるのかとても不安でしたが、リハビリ担当の方々に介助方法を丁寧に教えてもらい、何より家族の気持ちも理解いただけて嬉しかったです。先生や専門職の皆さんにサポートしてもらえるからこそ、自宅で介護ができると思います」と嬉しいお言葉を頂きました。リハビリ専門職による介護方法の指導や、アドバイスなどがご家族の不安解消につながり、定期的な訪問で安心感をもたれたので。しょう。



	AM	PM
月曜日	10:00-10:40 下川先生	13:20-17:00 阪神いきいき
火曜日	10:00-10:30 健勝園 (北島区) ハンズオン・プログラム、音楽療法	
水曜日	10:00-10:40 下川先生	15:30-16:00 木村先生
木曜日	8:30-12:30 ピースプラス (北島区)	15:00-15:40 下川先生
金曜日	10:00-10:30 健勝園 (北島区) ハンズオン・プログラム、音楽療法	
土曜日	8:30-12:30 ピースプラス (北島区) ハンズオン・プログラム、音楽療法	

↑5つの事業所が連携してのリハビリ



ご家族お手製のスイーツ
でホッと一息

ご本人は、突然の怪我により、ご自分のやりたいことができなくなり、とても悔しい思いをされた事でしょう。Aさんの「歩きたい」という強い願いを汲み取り、その願いを、在宅介護で叶えてあげたいというご家族の決意に対し、チームで共有し、一丸となってケアできたことにより、目標であった「歩けるようになりたい」が実現できたと思います。

ウィズってどんなところ？ 最終回 ～ 代表取締役 社長編 ～

日頃お世話になっている皆様に、よりウィズを知っていただくとうィズの全部署をご紹介させて頂きました、「ウィズってどんなところ？」シリーズも、いよいよ今回で最終回となりました。トリを務めるのは我が社の創業者、代表取締役社長・記虎孝年です。

Q.ウィズ創業のきっかけは？

学生時代に障がい者の方々の人権擁護のための市民運動の一員として活動をしており、当時は差別や蔑視など色々と壁があったように感じていました。大学卒業後は今までやってきた活動とは全く関係のない会社に就職しましたが、自分の中では葛藤がありました。そんな中、友人の紹介で、床ずれ防止の羊の毛皮の輸入の話がありました。障がいがあったり、何かの理由で、寝たきりになってしまわれた方々に、緑いっぱいの大自然で育った羊の毛皮の上に寝ていただき、少しでも大自然の壮大さやその開放感を味わっていただけたらと思い、平成元年1月9日に株式会社ウィズを立ち上げ、メディカルシープスキンを輸入・販売することになったのが、ウィズのはじまりです。



社長 記虎孝年



床ずれ予防シープスキン「ナーシングラグ」

Q.仕事の中で大切にしていることは何ですか？

ご利用者の目線に立って、ご利用者が本当に望んでおられる事を実現するために、ご利用者と一緒になって、ウィズができる事を全て行う事を大切にしています。

Q.ウィズ便りの読者様へ一言お願いします。

いつもご愛読いただきまして誠にありがとうございます。ご協力賜りました方々には深く感謝申し上げます。社員一同、皆様に喜んで頂けますよう努力して参りますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。



排泄介護ロボット・キュラコが新聞に掲載されました



弊社のオリジナル商品「ベッドで寝たままできる洗浄機能付きトイレ キュラコ」がシルバー産業新聞に掲載されました。

香川県で実際にキュラコを使用されているご家族を取材した記事です。

ご両親が娘様の在宅介護を続ける中で夜間の排泄ケアが大きな問題となり、そんな時にキュラコと出会い、使用される様子が書かれています。

ご両親の介護負担が軽減し、娘様は不快な思いなく快適に過ごすことができ、『本当にありがたい、本当に便利』と喜びの声を頂いております。



<シルバー産業新聞 1月10日号>

※疾患や身体状況などで、使用できるかなどのご質問がありましたら、お気軽にお問い合わせください。



弊社ホームページからも記事を読むことができます

キュラコ



～寝たままできる
洗浄機能付きトイレ～

排せつ物を自動で感知し
吸引、洗浄、乾燥させる
介護ロボット

介護保険対象品目
本体 / 介護保険レンタル
レシーバー・汚物タンク / 特定福祉用具購入



新聞の記事全文はコチラ



お問い合わせ先



お気軽にお問い合わせ下さい。



LINE公式アカウント



株式会社 ウィズ

こちらのWEBサイト
をご覧ください。⇒



オンラインショップ



本社・吹田	〒564-0042	大阪府吹田市穂波町19-25	☎06-6310-6262
大阪西営業所	〒550-0014	大阪市西区北堀江4-17-13	☎06-6536-9970
旭区ショールーム	〒535-0013	大阪市旭区森小路2-2-13	☎06-6955-6400
東大阪センター	〒577-0012	東大阪市長田東3-2-2	☎06-6748-8688
東住吉営業所	〒546-0013	東住吉区湯里2-18-11-101	☎06-6707-0788
東京営業所	〒101-0032	東京都千代田区岩本町3-5-2-702	☎03-5821-8572
横浜営業所	〒232-0056	横浜市南区通町2-33-2-102	☎045-730-6255
京急上大岡店	〒233-8556	横浜市港南区上大岡西1-6-1-7階	☎045-848-7297